



# Berlin Philharmonic Winds

## ベルリン・フィルハーモニック・ウィンズ

アンドレアス・ブラウ(フルート)

Andreas BLAU, Flute

ジョナサン・ケリー(オーボエ)

Jonathan KELLY, Oboe

アレクサンダー・バーダー(クラリネット)

Alexander BADER, Clarinet

シュテファン・シュヴァイゲルト(ファゴット)

Stefan SCHWEIGERT, Bassoon

サラ・ウィリス(ホルン)

Sarah WILLIS, Horn

### 曲目

モーツァルト(U.G.シェーファー編曲): オペラ『コジ・ファン・トゥッテ』より 序曲

MOZART (arr. U.G.SCHÄFER): Overture to *Così fan tutte*

ボザ: スケルツォ Op.48

BOZZA: Scherzo, Op.48

クルークハルト: 木管五重奏曲 Op.79

KLUGHARDT: Wind Quintet, Op.79

ラヴェル(J.シュマイザー編曲): 組曲『クープランの墓』より

プレリュード、メヌエット、リゴードン

RAVEL (arr. J.SCHMEISSER): Prelude, Minuet, Rigaudon  
from *Le tombeau de Couperin*

ベートーヴェン(M.レヒトマン編曲): 弦楽五重奏曲 変ホ長調 Op.4  
(木管五重奏版)

BEETHOVEN (arr. M.RECHTMAN): String Quintet in E-flat major,  
Op.4 (version for wind quintet)

ホルスト(K.ラムール編曲): 組曲『惑星』Op.32より  
「木星〜快楽をもたらすもの」

HOLST (arr. K.LAMOURE): "Jupiter, the Bringer of Jollity"  
from *The Planets*, Op.32

デイニク(J.シュマイザー編曲): ホラ・スタッカート

DINICU (arr. J.SCHMEISSER): Hora staccato

2023年  
(令和5年)

7月18日

火  
Tue

19:00

開演 (18:30開場)

Start (18:30 Open)

東京文化会館 小ホール

Tokyo Bunka Kaikan Recital Hall



第2回 | 9月27日(水) 19:00 開演

### 藤村実穂子

～日本が誇るメソソプラノ～



出演 藤村実穂子(メソソプラノ)  
ヴォルフガム・リーガー(ピアノ)  
曲目 モーツァルト：静けさは微笑み K.152  
夕べの想い K.523  
マーラー：『さすらい若人の歌』  
ツェムリンスキー：『メーテルリンクの詩に  
よる6つの歌』Op.13  
他

チケット発売日：5月27日(土)

第3回 | 11月11日(土) 18:00 開演

### OKI DUB AINU BAND

～欧米で喝采を浴びるアイヌリズムミュージック～



出演 OKI DUB AINU BAND  
OKI(Vocal / Tonkori)  
居壁 太(Vocal / Tonkori)  
沼澤 尚(Drums)  
中條 卓(Bass)  
HAKASE-SUN(Keyboards)  
Rekpo(Vocal / Dance / Tonkori)  
内田直之(Recording & Mixing)

曲目 当日発表

チケット発売日：7月8日(土)

第4回 | 2024年1月27日(土) 15:00 開演

### ハンスイェルク・シェレンベルガー & マルギットニアナ・シュース

～オーボエとハープで奏でる欧州名曲紀行～



曲目 C.P.E.バッハ：ソナタ短調 Wq.135  
J.S.バッハ：ハルチエート短調 BWV 1013  
ブリテン：オウィディウスによる6つのメタ  
モルフォーゼ Op.49  
サン＝サーンス：ソナタニ長調 Op.166  
フォーレ：即興曲第6番 変ニ長調 Op.86  
他

チケット発売日：9月23日(土・祝)

第5回 | 2024年2月23日(金・祝) 15:00 開演

### 大谷康子

～ヴァイオリンが歌う、至福の叙情詩～



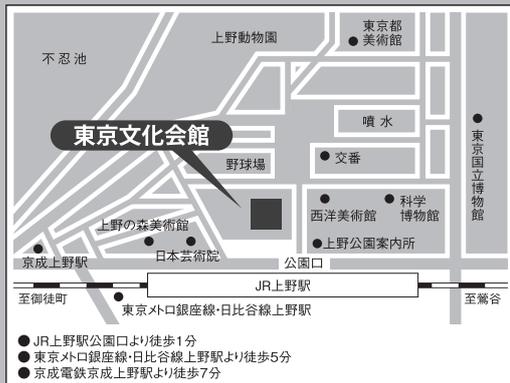
出演 大谷康子(ヴァイオリン)  
イリーナ・メジュエワ(ピアノ)  
曲目 ショスタコーヴィチ：  
3つの幻想的舞曲 Op.5  
リムスキー＝コルサコフ：  
『シエラザード』Op.35  
他

チケット発売日：10月21日(土)

全席指定

S 5,500円 A 4,400円 B 2,750円

25歳以下(全席共通/要証明書) 1,100円



ベルリン・フィルの特徴のひとつといえば「大きな室内楽のようである」が挙げられる。それは同団を母体とする室内楽グループに拠るところが大きい。ベルリン・フィルの中心的な管楽器奏者により結成された〈ベルリン・フィルハーモニック・ウィンズ〉。木管五重奏ならではの色彩と肌理細やかな描写力は、ベルリン・フィルの精髓を汲み出してくれることだろう。

1969年から2014年まで同団首席フルート奏者を務めたアンドレアス・ブラウは、カラヤン&ベルリン・フィルの黄金時代を歩むとともに、アバドやラトルのもとで木管楽器の中核的な役割を担う。また、1985年から首席ファゴット奏者を務めるシュテファン・シュヴァイゲルトもそのひとり。そして、ジョナサン・ケリー(Ob)、アレクサンダー・バーダー(Cl)、サラ・ウィリス(Hr)ら、いずれも同団の顔といえる実力者が揃う。

モーツァルトのオペラ・ブッファから色彩豊かなボザまで。ベルリン・フィルの歴史を刻むスペシャリストによる木管五重奏をお聴き逃しなく。

高山直也(音楽評論)



© Pacific Music Festival

## Berlin Philharmonic Winds

### ベルリン・フィルハーモニック・ウィンズ

アンドレアス・ブラウ(フルート)/ジョナサン・ケリー(オーボエ)/アレクサンダー・バーダー(クラリネット)  
シュテファン・シュヴァイゲルト(ファゴット)/サラ・ウィリス(ホルン)

ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団メンバーにより結成され、その活動はすでに10年以上に及んでいる。多忙を極めるメンバーだが、オーケストラのオフシーズンや演奏会の合間を縫ってアンサンブル活動を続け、多くの国際音楽祭にゲストとして招かれている。アンドレアス・ブラウとシュテファン・シュヴァイゲルトはヘルベルト・フォン・カラヤン時代からベルリン・フィルで活躍し、アンサンブルにおいても伝統の響きを受け継いでいる。また、ジョナサン・ケリー、アレクサンダー・バーダー、サラ・ウィリスも、オーケストラに加えソリスト、室内楽奏者としても高い注目を浴びており、その多彩な経験はこのアンサンブルにおいても存分に生かされている。レパートリーは古典からロマン派、現代音楽まで幅広く、見事な編曲で聴衆を大いに喜ばせている。

### Music Program TOKYO

世界的な芸術文化都市東京として、音楽文化の活性化を目指し、「創造性」と「参加性」を柱とした多様な事業を年間を通して一体的に展開する音楽プログラムです。クラシック音楽を基軸に、様々な分野のアーティストや文化施設等と連携して多彩な公演を実施する(Enjoy Concerts!)、海外の芸術機関や国内外の教育・社会福祉機関等と連携した(Workshop Workshop!)、そのほかの教育普及プログラムを(Music Education Program)として開催することで、東京の音楽文化に刺激を与え、世界に向け発信していきます。